

# 平成 29 年度 (30 年産) ビール大麦生育概況④

農業試験場研究開発部麦類研究室

調査日：平成 30 年 2 月 20 日

(調査基準日 2 月 20 日)

## 【2 月 5 日～2 月 19 日の気象概況】

宇都宮市の 2 月 5 日から 2 月 19 日までの平均気温は、平年より 0.5℃低く 2.7℃であった。降水量は 0mm、日照時間は平年比 130%と多照であった。なお、農試本場では 1 月 22 日から 2 月 5 日までの 15 日間根雪状態であったが 2 月 6 日に雪はなくなり、その後の降雨は無く、ほ場は乾燥した状態である。

## 【2 月 20 日の生育概況 農試本場(宇都宮市)】

農試本場(宇都宮市)のサチホゴールデンの生育はこれまでの低温や積雪に加え、雪解け後のほ場の乾燥により大きく下回っており、草丈は平年比 60%、茎数は平年比 24%であり、葉齢は平年より 2.5 枚少なかった。葉色値 (SPAD) は平年比 94%、幼穂長は平年比 88%、幼穂長は平年比 39%で、幼穂分化程度は「Ⅶ後期～Ⅷ期」の段階であり、平年より 2.6 遅れていた。

◎気象庁季節予報(2 月 15 日発表) ※毎週木曜日 14 時 30 分更新

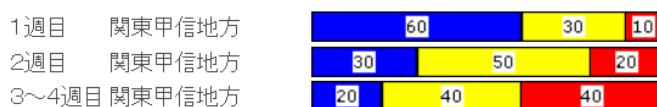
- ・ 向こう 1 か月の平均気温は、平年並みまたは低い確率 40%
- ・ 降水量は、多いまたは平年並の確率 40%
- ・ 日照時間は、平年並または少ない確率 40%

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



凡例: ■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

<気温経過の各階級の確率(%)>



凡例: ■ 低い ■ 平年並 ■ 高い

※1 週目 : 2 月 17 日～2 月 23 日

2 週目 : 2 月 24 日～3 月 2 日

3～4 週目 : 3 月 3 日～3 月 16 日

## 【今後の管理】

### 1) 踏圧（麦踏み）

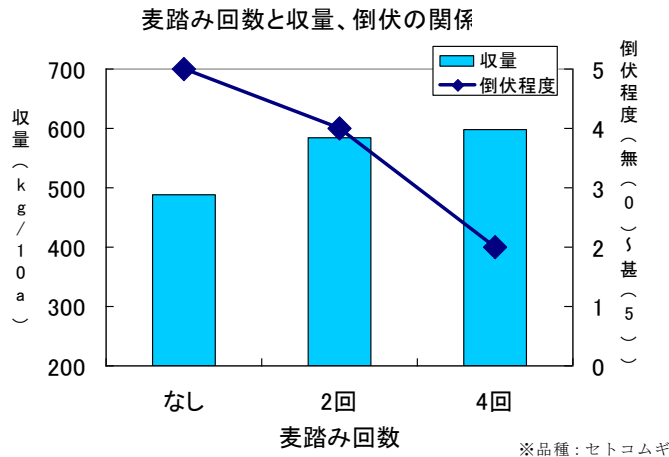
平年に比べ茎数が少ないほ場では分けつを増やすため早急に麦踏みを行う。

踏圧間隔：2週間以上

踏圧回数：茎立期直前までに1回以上

※茎立期：幼穂長が2cmを超え、茎が起立し始めるとき

ほ場が高水分状態での踏圧は土を固めてしまい、生育に悪影響を及ぼすので、ほ場の乾燥状態を確認した上で踏圧を行う（目安として靴に土がつかない程度）。また、今後低温・降雨が予想されるため、早めに踏圧を行うことが望ましい。



参考 麦踏み回数と収量、倒伏の関係

(香川農試研究成果第23号より作図)

### 踏圧の効果

- ・分けつを旺盛にする
- ・凍上害を防止する
- ・根張りをよくする
- ・耐寒性を増大する
- ・生育をそろえる

### 2) 排水対策

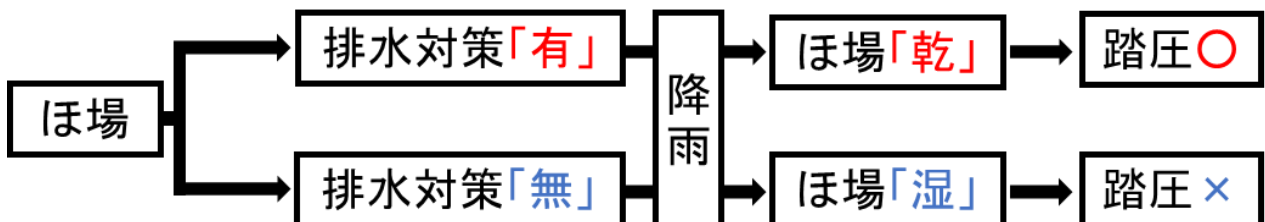
今後の降雨・降雪に備え、できるだけ早期に明きよの整備を行う。

整備のポイント

① 明きよの出口が、ほ場外の排水路に接続されている。

② 溝が土や泥等で埋まっていない（埋まっていたらさらう）。

このような排水対策の実施により、降雨・降雪後のほ場の乾燥を促し、計画的な踏圧が可能となる。特に本年は生育が遅れているため、適切な管理で生育を正常に保つ事が重要となる。



※適切な排水対策により、降雨後でもほ場が乾きやすく、早い時期に踏圧ができる

### 3) 雑草対策

今後の気温の上昇や降水量の増加により雑草の発生が懸念される。除草剤を有効活用する。

★農薬は使用前にラベルをよく読み、使用時期・使用方法を確認して正しく使う★

**【耕種概要等】**

調査方法：ほ場調査(草丈、茎数、葉齡、葉色)  
 抜取調査(幼稈長、幼穂長、幼穂分化程度)  
 播種期：11月10日(前年11月6日・平年11月4日)  
 播種量等：条間20cmのドリル播、播種量192粒/m<sup>2</sup>設定  
 踏圧：1回(12月26日)

**【調査結果】 調査日 2月20日**

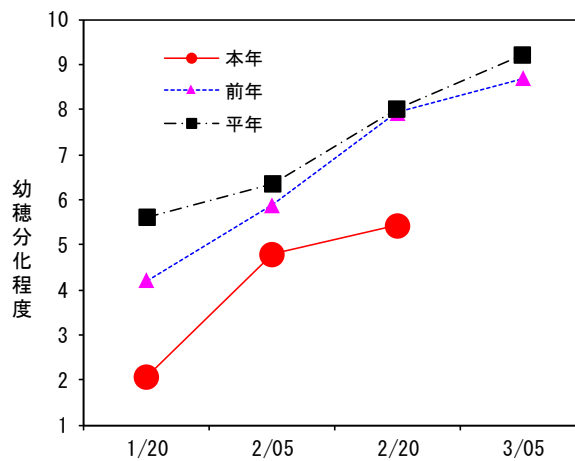
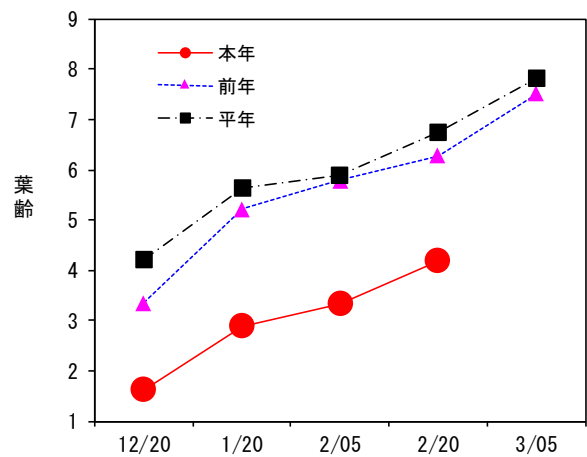
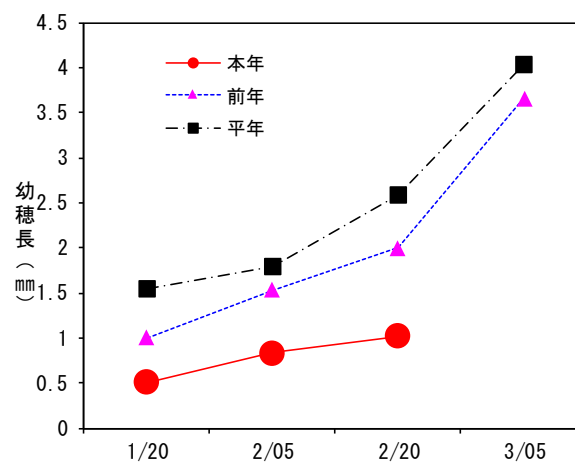
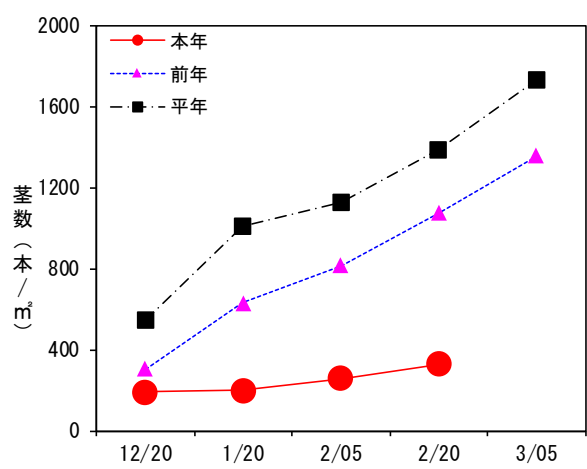
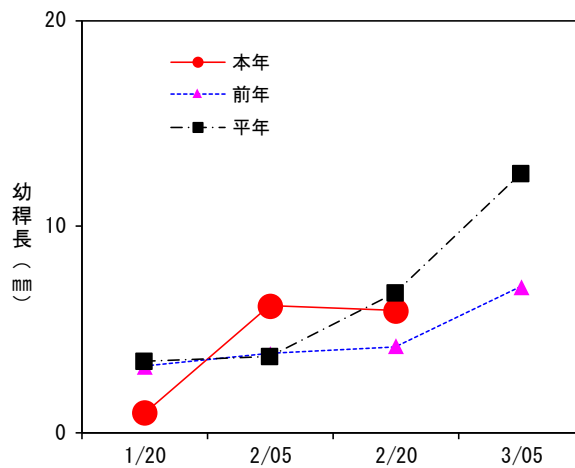
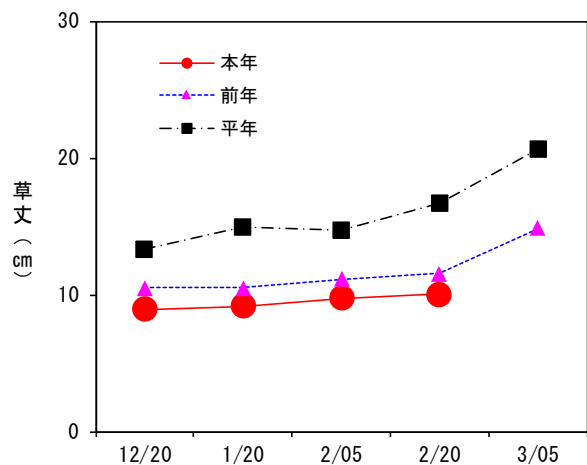
場所	品種名		草丈 cm	茎数 本/m <sup>2</sup>	葉齡	葉色 SPAD	幼稈長 mm	幼穂長	幼穂分化 程度
農試本場 (宇都宮市)	サチホ ゴールデン	本年	10.0	327	4.2	36.7	5.9	1.0	5.4
		前年	11.5	1071	6.3	40.8	4.2	2.0	7.9
		比・差	87	31	-2.1	90	142	51	-2.5
		平年	16.7	1388	6.7	38.8	6.7	2.6	8.0
		比・差	60	24	-2.5	94	88	39	-2.6
	アスカ ゴールデン (参考)	本年	9.8	272	3.5	36.6	6.1	0.8	5.0
		前年	12.6	1074	5.9	43.8	4.2	1.9	7.5
		比・差	78	25	-2.4	83	146	44	-2.5
		平年	13.4	1072	5.9	39.6	4.1	1.9	6.7
		比・差	73	25	-2.4	92	149	44	-1.7

注)小数点以下第2位を四捨五入してあり、実際の差と一致しない場合がある  
 ※比・差：葉齡、幼穂分化程度は平年差、その他の項目は平年比を表す  
 ※平年値(平成24年度は湿害のため、欠測とした)  
 サチホゴールデン：平成19~23、25~29年度  
 アスカゴールデン：平成23、25~29年度

参考 前回(2月5日)の調査結果

場所	品種名		草丈 cm	茎数 本/m <sup>2</sup>	葉齡	葉色 SPAD	幼稈長 mm	幼穂長	幼穂分化 程度
農試本場 (宇都宮市)	サチホ ゴールデン	本年	9.8	259	3.3	34.4	6.1	0.8	4.8
		前年	11.1	813	5.8	38.1	3.8	1.5	5.9
		比・差	88	32	-2.5	90	161	55	-1.1
		平年	14.7	1,123	5.9	38.8	3.7	1.8	6.3
		比・差	66	23	-2.6	88	165	47	-1.6
	アスカ ゴールデン (参考)	本年	9.4	193	2.9	37.4	4.3	0.6	4.1
		前年	11.9	888	5.3	37.1	3.5	1.2	5.3
		比・差	79	22	-2.5	101	124	54	-1.1
		平年	13.4	981	5.5	39.2	3.4	1.6	5.8
		比・差	70	20	-2.6	95	125	41	-1.6

サチホゴールデン生育調査結果(農試本場)



注) 幼穂分化程度は下記階級値に変換  
 V : 2 VI : 3 VII前 : 4 VII後 : 5 VIII : 6 IX前 : 7  
 IX中 : 8 IX後 : 9 X : 10 X以降 : 11

# 【気象概況】

